

# 製麺機もIT化の時代です



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

人手不足で人を増やしたいが、価格競争が厳しい。どうしたものか。

製麺機を導入し、コストカットを図ってみてはどうでしょう。

②

いやいや、市販の製麺機じゃ、麺の練り時間や水の量の調整が難しいから、美味しい麺ができないよ。

このままでは状況を変えることはできませんよ。

じゃっぱり手打ち

③

たとえば、ITシステム内蔵型の製麺機であれば、加水量や練り時間を状況に応じて判断可能なものもありますよ。導入費用には助成金が利用可能です。

進歩しているなあ

不安はあるけどしょうがない

④

ITシステム内蔵型の製麺機を導入したところ、手打ちと同じ質感を持つ麺が効率的に作成できるようになり、コストカットを価格に反映させ、競争力も向上しました。売上げもアップしました。

コストカットにより、賃金も引き上げ、人材確保にもつなげた

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★=★★★★」に該当

業種：飲食業 従業員数：94名

他店との価格競争や原材料の高騰に対し、製造過程の機械化を進め、質の高い麺の量産や経験の浅い従業員でも効率的に麺を製造できる仕組みに取り組んだ。

(導入前) → (導入後)



IT内蔵型製麺機を導入※！！

【IT内蔵型製麺機導入経費の一部を助成】

○業務改善助成金

助成率 最大80%

上限額 最大100万円

【法人税の特例（経営強化税制）】

○即時償却又は取得価格の最大10%の税額控除

【固定資産税の特例措置】

○備品・設備等を新規取得した場合、固定資産税が3年間にわたり1/2に軽減

◆ 常時使用労働者数や生産性要件等により助成率が変化する等、助成金等には一定の要件があります。

- ・従来は配合や混ぜ作業が手作業だったが、機械で処理されるようになり、量産化に成功した。
- ・製造コストを削減し、賃金を引き上げることができ、価格競争にも対抗ができるようになった。
- ・生産性が向上したことに伴い、残業時間が短縮され、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com